

リハビリテーション医学

Rehabilitation Medicine

単位数：2単位

○内尾祐司 教授：整形外科学
馬庭壯吉 教授：リハビリテーション部

1. 科目の教育方針

各種機能障害に対するリハビリテーションの理論と実際を教授する。また、リハビリテーション関連の専門知識を義肢等装具の製作所現場訪問を含めて学習させる。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

リハビリテーション治療の目的は障害をいかに軽減するかである。そのために、機能障害、能力低下、社会的不利の各レベルの障害を正しく評価して治療できるようなスキルを習得する。

行動目標 specific behavioral objectives

的確な障害評価、リハビリテーション治療の選択ができ、社会福祉や行政サービスの知識を獲得するように努める。

3. 教育の方法、進め方

オムニバス形式を基本とする。

講義は主として面接授業で行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、オンライン授業に変更する場合もある。オンライン授業の場合は、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義と演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

- ・リハビリテーション医学テキスト 改訂第2版 南江堂
- ・標準整形外科学 第10版 医学書院

6. 教育内容

- 1) 骨・関節・神経・筋肉を含めた運動器は人間が長い進化の中で獲得してきた重要な器官である。疾病や外傷によって、これが損なわれるとQuality of lifeは極めて障害される。

本講では主に運動器におけるリハビリテーション医学の理論、実際について臨床現場を体験しながら学習させる。

2) リハビリテーション医学の基礎を修得させる。

3) 各種機能障害・疾患に対するリハビリテーション医療を修得させる。

回	授業内容	担 当
1	リハビリテーション医学 総論	馬庭壯吉
2	障害論	馬庭壯吉
3	リハビリテーション治療学	馬庭壯吉
4	骨・関節疾患のリハビリテーション	内尾祐司
5	スポーツ医学・アスレチックリハビリテーション	内尾祐司
6	再生医療	内尾祐司
7	末梢神経障害のリハビリテーション	内尾祐司
8	脊髄損傷のリハビリテーション	馬庭壯吉
9	呼吸器・循環器のリハビリテーション	馬庭壯吉
10	脳卒中のリハビリテーション	馬庭壯吉
11	脳性麻痺、小児疾患のリハビリテーション	馬庭壯吉
12	切断・義肢装具	馬庭壯吉
13	がんのリハビリテーション	馬庭壯吉
14	廃用症候群、リスク管理	馬庭壯吉
15	トピックス	内尾祐司